

学力向上に効果のある取組事例

臼杵市立臼杵小学校

③主体的に学習に取り組む態度の涵養

取組の具体①

○「生徒指導の3機能」「新大分スタンダード」を意識した授業づくりと展開～主体的な学びをめざして～

単元構想を出発点にした授業デザイン

- ・単元一単位時間のゴールを明確化
→ゴールの姿と見通しをもたせ、そこに向かって課題解決を図る
- ・聴き合い、読み解き、伝え合う場の保障
→自分の考えをもつ時間、交流する時間、深め合う時間をどの教科にも取り入れる

主体的な学びをめざした授業展開

- ・「めあて」や「課題」の設定を子どもたちから引き出す
→子どもに思考させる問いかけや声かけ、ICT機器の活用

目的に合わせた対話の工夫

- ・何のために対話するのかを明確化
→対話のねらいによって、人数や形態を工夫する
(ペア、グループ、フリーなど)

習熟度別算数

- ・習熟の程度に応じた少人数指導(3年生以上)
→きめ細やかな指導により、「わかった」「できた」が実感できる



取組の具体②

○校内研修「学級会の取組と充実」

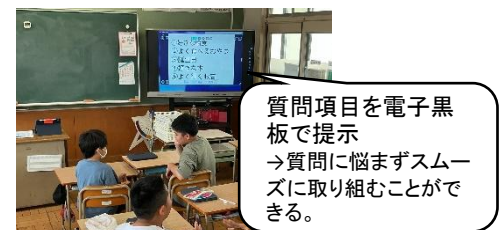
学級会の取組

- ・進んで話し合いたくなる議題の設定
→自分事として捉え、必要感のある議題(学級ボックスに学級の課題や挑戦したいことを自由に投函)
- ・自分の考えを整理した上での学級会開催
→議題に対する自分の考えやその理由を、学級会までにワークシート等に整理し、それをもとに話し合う
- ・学級会のようすを教職員で共有
→提案授業や校内研修を通して、学級会の板書をもとに情報や意見の交流

生徒指導の3機能を意識するための取組

- ・毎週金曜日の「ほっとタイム」(人間関係づくりプログラム)
→互いの考えや思いを認め合う雰囲気づくり
→友だちの思いを共感しながら聴く姿勢

ほっとタイム「質問じゃんけん」



今後は、月に1回「縦割り班ほっとタイム」を設定し、異学年交流も推進する。